

【別表 3】

令和元年度 小学校5年生 英語学力調査

〔新教育課程対応版(東京書籍)〕

◇総合正答率(%)

全体	校内平均
	80.0

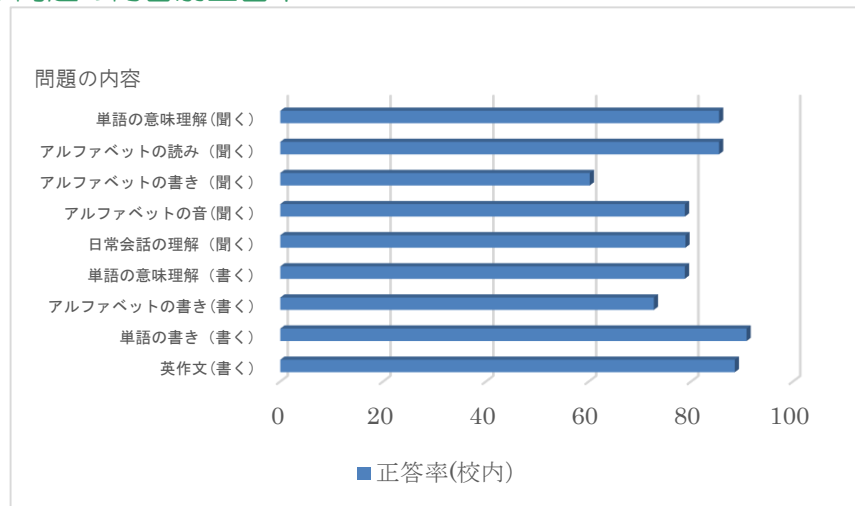
◇出題の形式別正答率(%)

出題形式	校内平均
聞く問題	78.6
書く問題	83.2

新教育課程の学習内容がどれだけ定着しているかを客観的にみるために昨年度から金武町では5学年全児童を対象に学力調査を実施している。

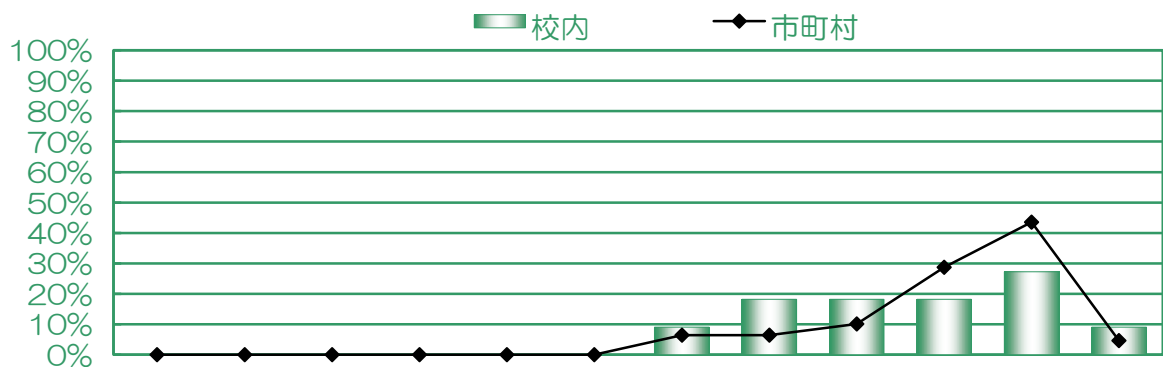
5年生は、アルファベットの認識力が定着しつつあり、単語や英作文を書くことに成果を出している。しかしながら、単語や日常会話の意味理解、アルファベットを聞いて書く問題などの正答率は低いことから、繰り返し丁寧に指導する必要がある。

◇問題の内容別正答率



正答率
校内
85.5
85.5
60.2
78.8
78.9
78.8
72.7
90.9
88.6

◇正答率度数分布



正答率		0%	0%を超えて 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上 60%未満	60%以上 70%未満	70%以上 80%未満	80%以上 90%未満	90%以上 100%未満	100%
児童の割合	校内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1
	市町村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	10.2	28.7	43.5	4.6

令和元年度 小学校6年生 英語学力調査

【新教育課程対応版(東京書籍)】

◇総合正答率(%)

全体	校内平均
	89.6

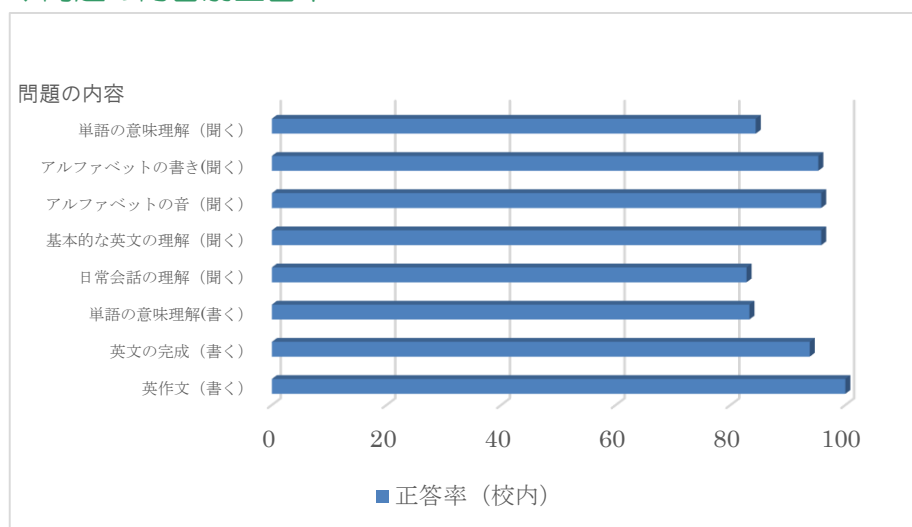
◇出題の形式別正答率(%)

出題形式	校内平均
聞く問題	88.2
書く問題	92.7

新教育課程の学習内容がどれだけ定着しているかを客観的にみるために昨年度から金武町では6学年全児童を対象に学力調査を実施している。

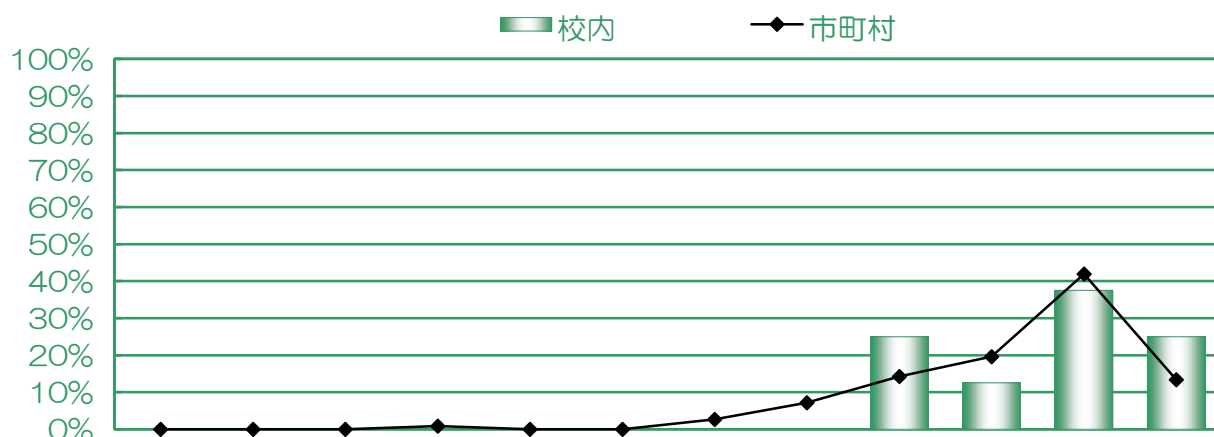
6年生は正答率9割以上の位置にピークがあり、全問正解の児童を合わせると、9割以上正解の児童が62.5%という結果が出ている。全体として高いレベルで学習内容が定着しているといえる。対象児童が5年生の時の結果(85.2%)、及び、昨年度の6年生の結果(82.3%)と比較しても向上している。特に、例文を参考に自己紹介文を3文以上書く問題の正答率は100%となっていることから成果といえる。

◇問題の内容別正答率



正答率
校内
84.4
95.3
95.8
95.8
82.8
83.3
93.8
100.0

◇正答率度数分布



正答率		0%	0%を超えて	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	60%以上	70%以上	80%以上	90%以上	100%
			10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	100%未満	
児童の割合	校内	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	37.5	25.0
	市町村	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	2.7	7.1	14.3	19.6	42.0	13.4